

【教科】社会科（歴史的分野）	【日時】 2月 6日（金）5校時	【生徒】1年1組35名	【授業者】草刈 源
江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業		「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」	

【单元名】歴史：古代・中世のまとめ (全1時間)		学習過程	〇主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応	☆指導上の工夫
【单元目標】 古代・中世全体を俯瞰的に振り返って、その大きな流れや特色を理解する。		導入 10分	①飛鳥・奈良・平安・鎌倉時代に登場した10人の人物を挙げる。（聖徳太子・天智天皇・天武天皇・聖武天皇・桓武天皇・藤原道長・平清盛・源頼朝・後鳥羽上皇・北条時宗） ②その人物を授業で登場した順に班ごとに並べ、白紙プリントに班長が記入。記入後、班長が挙手。2つの班が達成したら、正解を板書する。 ③各自、10人の順番を覚える。2人1組で確認する。	☆すべて既習事項なので、生徒が積極的に発言できるようにテンポよく発問する。 ☆プリントに自由に書き込めるように、枠などは設けずに白紙を配布する。（記名はする）
次	学習内容（時数） 〇本時	展開 30分	〇「マインドマップ」の作成の方法を説明する。 ①それぞれの人物に関する出来事1つずつ、教科書やノートからピックアップし、プリントに記入する。（各自） 例：聖徳太子＝十七条の憲法 天智天皇＝大化の改新 <div>話し合い：各自で調べた内容を、班で共有し、人物と出来事を関連させたマインドマップを作成する。</div> ④OK をもらった班から、マインドマップを何も見なくても書けるように暗記する。	☆班編成は、4人1組とする。
1 〇	古代・中世のまとめ			
【本時の目標】（1／1時） 古代・中世全体を俯瞰的に振り返って、その大きな流れや特色を理解する。 【本時の評価】 ○知技：古代・中世で学習したことを振り返り、近世の日本と世界を大観し、その大きな流れや特色を理解している。 ○思考：古代・中世の時期や年代、人物と出来事の相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的、多角的に考察し、表現している。		まとめ 10分	①プリントの左半分を折って、覚えたマインドマップを再現する。 ②各自、採点する。	☆1つ1つの人物・出来事がぶつぎりにならないように線でつなげて書くように伝える。 ☆採点基準： ・人物10人が順番どおり書けている。 ・人物10人と出来事をつなげて書けている。